

## 和歌山病院での実習を終えて



浅井 亮太

今回呼吸器内科の実習の一つとして 2/27、2/28 の二日間和歌山病院で実習させていただきました。最初は正直なぜ御坊にある和歌山病院で実習するのかその目的がよくわからなかったのですが、いざ終わってみると 2 日だけしか実習していないのに得るものがとても多く本当に充実した二日間でした。

この二日間では主に結核、胸部レントゲン、呼吸管理について勉強させていただきました。結核に関しては病態生理、治療についての講義のほかにも実際に結核病棟の説明や N95 マスクの着用など教科書には載っていないことまで勉強することができました。呼吸管理に関しても実際にいろいろな種類の酸素マスクを自分でつけてその違いを体感することができました。去年初めて酸素マスクについて学習したときその違いがよくわからず、流量とは、酸素濃度がなぜ違ってくるのかなど理解しないままただ覚えるだけということをしていたので実際実物を見ながら詳しく説明していただくことで十分理解することができました。

またこの二日間で最も印象に残っているのは南方先生による正常のレントゲンの読み方の講義です。第一弓はこれといった教科書に載ってある知識だけ覚えていても実際にレントゲンを見たところで結局よくわからなく僕はどう勉強すればよいのかさえわかっていませんでした。南方先生はそもそもレントゲン写真とは何なのか、なぜ線ができるのかと根本的なことをとても分かりやすく教えてください、少し読影について親近感が持てるようになりました。これを糸口にして自分で勉強していく自信ができました。また先生はただ教えてくださいではなく、全員に質問して考えさせ、考えることの大切さも教えてくださいました。医学の膨大な知識をただ詰め込むのではなくしっかり考える練習を積むことで医者になった時に先生のおっしゃる良い医師、つまり患者さんの求めることを理解しそれを提供できる医師になれるようこれからも頑張っていきたいと思いました。本当にありがとうございました。